RIDA スクリーン 残留ホルモン剤 シリーズ

食品・環境中の残留ホルモンの定量 ELISA キット

食肉や尿中等に残留するホルモンのスクリーニング定性検査および定量を目的とする ELISA(酵素免疫測定) 法キットです。機器分析と比べて、高価な設備を要せず、前処理も簡単で、キット操作約3時間で定量できます。 メーカーr-Biopharm 社(ドイツ)は ISO9001 認証済みで、精度・再現性の高いキットとして評価されています。 ここで紹介されるホルモン剤キットのほか、抗菌性物質などのキットもあります。

また性ホルモンのキットには河川水中における環境ホルモン様物質調査に用いられているものもあります。

	RIDA スクリーン 残留ホルモン剤 シリーズ (製造:r-Biopharm 社)					
品名	アセチルク	・スターゲン(6231P)	メレンゲス	トロールアセテート(6232P)		
コードNo. 価格・仕様	17β-エス	トラジオール(6311P)	エチニルエストラジオール(6312P)			
	ジエチルス	チルベストロール(6331P)	ゼラノール	(6332P)		
	テストステロン(6411P)		19-ノルテストステロン(6412P)			
	メチルテストステロン(6413P)		トレンボロン(6431P)			
	クレンブテ	ロール Fast (6512P)	クレンブテ	ロール(6511P)		
	ラクトパミン	✓ (R9901)	β−アゴニ	スト (R1703)		
	全キットとも 96 ウェル 78,000 円					
キット内容	マイクロプレート(96 ウェル:8 ウェル 12 本)(1ウェルづつはずせます)標準液5濃度各1本、酵素複合体液、基質液、発色液、反応停止液、パッファー、抗体液等					
目的•用途	特定ホルモンの定量分析ないしは定性スクリーニング					
原理と	マイクロプレート式 ELISA 法(競合法)(二重抗体=例外あり)					
検出限界	アセチルゲスターゲン(MPA 等)		メレンゲストロールアセテート(MGA)			
	感度	30ppt	感度	筋肉 75ppt 脂肪 300ppt		
	標準液	0.15, 0.45, 1.35, 4.05, 12.15ppb	標準液	0.15、0.45、1.35、4.05, 12.15ppb		
	交差反応	Medroxyprogesteron acetate 100% 17a-Acetoxyprogesterone 126% Megestrol acetate 50% Chloromadinone acetate 50% Melengestrol acetate 0.6%	交差反応	Melengestrol Acetate 100% Megestrol Acetate 10.0% Medroxyprogesteron acetate 6.6% Chlormadinone acetate 5.2% 17a-Acetoxyprogesterone 4.8% 16a-Methylprogesterone 0.0035%		
	回収率:	50%	回収率	肉 約 74% 脂肪 約 65%		
	出、凍結、 精製	出出(一晩)、凍結、遠心分離、再抽 遠心分離、乾燥、洗浄、C18 カラム キュベーション:2 時間 30 分				

17 β エストラジオール

感度 血漿 20ppt

標準液 0.05、0.2、0.8、3.2、12.8ppb

交差反応 17 β -Estradiol 100%

Estradiol-3-benzonate 50%

Trenbolon 1%

回収率 血漿 約85%

前処理:抽出、凍結乾燥

キットインキュベーション:2 時間 30 分

エチニルエストラジオール

感度 尿 200ppt

標準液 0.05、0.2、0.8、3.2、12.8ppb

交差反応 Ethinyl estradiol 100%

 17β -Estradiol 0.7%

回収率 尿約85%

前処理:加水分解、C18 カラム精製 キットインキュベーション:2 時間 30 分

ジエチルスチルベストロール(DES)

感度 尿 200ppt

標準液 12.5、25、50、100、200ppt

交差反応 Diethylstilbestrol (DES) 100%

Hexestrol 22%

DES-glucuronide 68% Dienestrol \leq 1.0% 17 β -Estradiol \leq 0.01%

回収率 尿 85%

前処理:尿=加水分解、C18カラム精製

胆汁・筋肉・肝臓も別法で可

キットインキュベーション:2 時間30分

ゼラノール

感度 尿 220ppt

標準液 31.25、125、500、2,000、8,000ppt

交差反応 Zeranol 100%

 α –Zearalenol 21.1% β –Zearalenol 2.5% Zearalanone 2.4%

回収率 尿 67%

前処理:尿=加水分解、C18カラム精製

肝臓・腎臓も別法で可

キットインキュベーション:2 時間 30 分

テストステロン

感度 血漿 20ppt

標準液 50、200、800、3,200、12,800ppt

交差反応 Testosteron 100%

 17β -Nortestosteron 10%

 17β -Trenbolon

19-ノルテストステロン

感度 尿 800ppt 肉 400ppt

標準液 200、600、1,800、5,400、16,200ppt

交差反応 19-Nortestosterone 17 β 100%

19-Norandrostendione 100% 19-Nortestosterone 17a 80%

19-Norethisterone 74%

15a,16a-Methylene-19NT-17 β

-acetate 71%

18-Methyl-19NT-17 β 59% 17a-Ethyl-19NT-17 β 40%

Trenbolone 10%

回収率 血漿 約85%

前処理:抽出、凍結乾燥

筋肉も別法で可

キットインキュベーション:2 時間30分

回収率 尿約85%

前処理:尿=加水分解、肉=t-butylmethylether

抽出、C18 カラム精製

キットインキュベーション:2 時間 30 分

		艮品"即科"環境快宜イット くさ	72·6—7.	<i>></i>
メチ	メチルテストステロン		トレンボロン	
感度	芰	尿 200ppt	感度	尿 100ppt
標準		50、150、450、1,350、4,050ppt	標準液	25、50、100、200、400ppt
交差		Methyltestosteron 100% Testosteron 40% 17a-Methylandrostan-17 β ol-3-one 28% 1,4-Androstadien-17a-methyl-17 β ol-3-one 26.3% 1-Dehydrotestosterone 16.2% 5a-Androstan-17 β ol-3-one13.1% 5a-Androstan-2-oxa-17a-methyl-17 β ol-3-one 4.6% 19-Nortestosterone 3.2%	交差反応	17 β -Trenbolone 100% Trendione 100% 17a-Trenbolone 82% 17 β -Trenbolone-glucuronide 82% 17a-Trenbolone-glucuronide 7%
回收	又率	尿 90±10%	回収率	尿 85%
	前処理:加水分解、C18 カラム精製キットインキュベーション:12-16 時間 30 分クレンブテロール Fast		前処理:尿=加水分解、C18 カラム精製 胆汁・筋肉・肝臓も別法で可 キットインキュベーション:2 時間 30 分	
クレ			クレンブテロール	
感度	吏	筋肉 40ppt、 血清 100ppt	感度	尿 100ppt
標準	 達液	100、300、900、2,700ppt	標準液	100、300、900、2,700、8,100ppt
交差		Clenbuterol 100% Brombuterol 150% Mabuterol 86% Terbutalin, Salbutamol 10% Cimaterol 6% Carbuterol 4%	交差反応	Clenbuterol 100% Brombuterol 130% Mabuterol 86% Terbutalin, Salbutamol 10% Cimaterol 6% Carbuterol 4%
回収	又率	尿 90%	回収率	尿 90%
		ミ=不要 筋肉等=C18 カラム精製 キュベーション: 1時間		=不要 筋肉等=C18 カラム精製 Fュベーション:16時間 30 分

所要時間 保存条件	キット操作 約 2.5 時間 但しキットによる。 4~8℃
操作	キットにより異なります。また、予告なく仕様変更される場合があります。必ずキット取扱説明書でご確認下さい。以下は参考例です。
	Fast クレンブテロールなど ①各ウェルに試料(標準)20 μ L、酵素複合体 100 μ L を滴下し振とうする。 ② 室温で 30 分間インキュベート。ウェル内の液を廃棄後、蒸留水で3度洗浄。 ③各ウェルに基質液・発色源液を 50 μ L ずつ滴下して振とうする。 ④ 室温で 15 分間インキュベート。 ⑤各ウェルに反応停止液を 100 μ L ずつ滴下して振とうする。 ⑥吸光度を測定する。標準液ウェルの吸光度から検量線をとり、試料の濃度を換算定量する。
	 17 β エストラジオール、エチニルエストラジオール、トレンボロンなど ①各ウェルに酵素複合体 50 μ L、試料(標準) 20 μ L、抗体液を 50 μ L ずつ滴下し振とうする。 ② 室温で2時間インキュベート。ウェル内の液を廃棄後、蒸留水で3度洗浄。 ③各ウェルに基質液・発色源液を 50 μ L ずつ滴下して振とうする。 ④ 室温で 30 分間インキュベート。 ⑤⑥同じ
その他必要 機器 試薬	マイクロプレート(ストリップ)用フォトメーター(450nm)、マイクロピペット、前処理抽出用器具(遠心分離器、エバポレーター、シェーカーなど)、必要に応じ C18 カラムなど蒸留水、必要に応じ抽出溶媒 RIDA スクリーン C18 カラム (100 個)(65C1P) 24,000 円

ELISA(酵素免疫測定)法の原理(競合法・二重抗体)

